

慶応二年三月晦日(三十日)より慶応二年四月二日まで

P8310579 right

来り蒸菓一折持参、御用召出 殿、金がわ小□斗壺、土井備中頼にて酒井雅楽頭(※1)へ  
一見に

出す、且遠望鏡一つ、御館御用にて取入の義被頼、仏英へ被差遣に付拝領物 被仰付候  
御老若廻勤、須崎伯母より来会断り申来る、桑名も同断、鯉節一箱贈り来る、中の□□兩人  
賀銀促しに来る遣す、内山鰻券持参、藤山、関本(加州産紙扇持参)山本(長)柳斎・正覚牛姑  
(菓子持参)富沢叔母

(鶏卵一大筥)□等来り会し亨膳を勧む、其他断りの向番町桑名を初め夫々取持へ贈り遣す  
牛姑は一泊す、且来会の者、並家来一同へ賀品賀銀を遣し次、一同へ膳部を設く

明日縫殿頭殿、金港御出張三玄屯所の義に付、仏ミニストル御引合に付浅野伊賀供に随行の  
命あり

英国測量船の義に付、同公使仏公使談判振りの趣、認取様兵□輔殿より命あり

P8310579 left

四月

朔日寅 晴夕前より陰

昨、兵部殿より御談の書面を認め差出方の義、朝比奈(甲州)へ頼み遣す、且(監察)嘉太郎上坂  
いたす趣に付、先般坂城にて

伯耆守殿御談有し候、コロリで、バリウムの義御国陸軍惣員の義、出雲守殿、御頼有し  
小遠望鏡の義等嘉太郎へ

托し申上の義同人への伝言をも頼遣す、朝第八時半出立、第十一時前蒲田梅林午休み、同所より  
駕を

(金川)用い第三時前金駄山手本陣着、楽太来る、夜第九時比、縫殿頭殿御着に付浅野(佐州)供  
相伺処

明日第二時比(頃)仏館へ御出張にて三兵屯所、並富士山船坂地御廻の義、御談判有し旨也  
御目付は明日佐州より序を

以て達し呉候積り右段楽太郎へ達し遣す  
二日卯 風陰

\*1:雅楽頭(うたのかみ)

( )内は細字双行(二行に小さい文字で二行書き)などの場合です。

□印は解読未了の文字です。私の実力ではすぐ解読できません。9.

【文字判読不可】、■は、文章の一部に汚れあり、虫食いにより文字が無い等です。